## お問合せ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/）**
  本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ アイワお客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ポータブルCD］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：XP-ZR850
    - シリアル番号：本体のふたの裏側に記載されています。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名／型名）：
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：


**アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ**

● http://www.jp.aiwa.com/

アイワお客様ご相談センター

● ナビダイヤル………… 0570-00-4680
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）

● 携帯電話・PHSでのご利用は‥0466-31-4833
（ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。）

● FAX ……………………… 0466-31-4250

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00
*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



Printed in China

この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

2-585-063-**02** (1)


# FM/AM/TV ポータブル CDプレーヤー

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**XP-ZR850**

# ⚠警告 安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

↓

## 安全のための注意事項を守る

4~7ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら**



→

1. **電源を切る。**
2. **ACパワーアダプターをコンセントから抜く。**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する。**

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠危険**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**⚠警告**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意**
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**



火災　感電

**行為を禁止する記号**



禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**



指示

# 目次



この取扱説明書では、本体での操作を主として説明しています。

この取扱説明書は、本体の操作を説明しています。付属のソフトウェアSonicStageの操作については、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

⚠ **警告** 


下記の注意を守らないと**火災・感電、**
または**大けが**の原因となります。

## 運転、歩行中の使用について




- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

## 内部に水や異物を入れない。



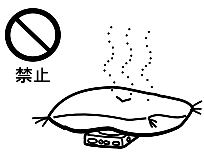

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

## ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。




感電の原因になることがあります。

## 本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。




熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

## 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。




感電の原因になります。

**⚠警告** 火災 感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**、
または**大けが**の原因となります。

## 絶対に分解しない。

分解禁止

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。

**⚠注意**

下記の注意を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

## 大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

禁止

- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。



## はじめからボリュームを上げすぎない。

禁止

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

## 通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れない。また、ホコリがつかないように、CDの出し入れ以外はふたを閉じておく。
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。CDに傷がついたり、本機の故障の原因となります。
- 次のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。

## CDの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持つ。
- 紙やテープを表面に貼らない。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、炎天下で窓を閉め切った車の中に放置しない。
- 本機で使用できるのは円形ディスクのみのため、円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使うと、本機の故障の原因となります。

# 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

**充電式電池**
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

**乾電池**
アルカリ、マンガン

**ボタン型電池**
リチウムなど

**⚠危険　充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき**

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口またはアイワお客様ご相談センターに相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

## ⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

## ⚠警告 充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

## ⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

## ⚠警告 外付け乾電池ケースを付属している場合

外付け乾電池ケースも乾電池と同様に、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。

## ⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

**お願い**

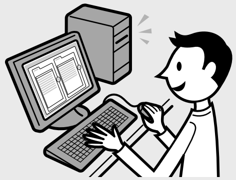
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

# ATRAC CDを作って楽しもう

通常の音楽CDに加えて、付属のSonicStage（ソニックステージ）ソフトウェアを使って作成したオリジナルのCD（ATRAC CDと呼ぶ）を再生できます。SonicStageを使うと、音楽CD約30枚分*の曲を1枚のCD-RまたはCD-RWに記録できます。
ATRAC CDに入れた音楽を聞くまでの流れは以下のとおりです。

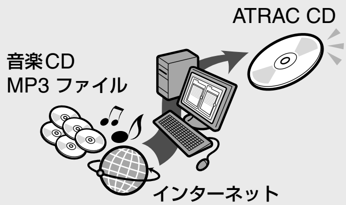
## SonicStageをパソコンにインストールする

SonicStageは、音楽CDやインターネットから音楽をパソコンに取り込んで、オリジナルのCDを作るソフトウェアです。付属のCD-ROMからインストールします。



## ATRAC CDを作る

パソコンに取り込んだ音楽から好きな曲を選び、SonicStageを使って、CD-R/CD-RWディスクに書き込みます。




## ポータブルCDプレーヤー（本機）で聞く

たくさんの曲が入ったオリジナルのCDを、手軽に持ち歩いて楽しめます。



SonicStageのインストール方法やATRAC CDの作りかたは、付属の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

* 700MB（メガバイト）のCD-R/CD-RWディスクに、1枚あたり約60分の音楽CDをATRAC3plus、48 kbpsで記録したときの換算です。

## 本機で再生できるディスクは？

### 音楽CD：
**CD-DAフォーマット**

CD-DAは、Compact（コンパクト） Disc（ディスク） Digital（デジタル） Audio（オーディオ）の略で、一般音楽CDの規格です。

### ATRAC CD：
**SonicStageを使ってATRAC3plus（アトラックスリープラス）* フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク****

ATRAC3plusは、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding3plus（コーディングスリープラス）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64 kbpsのとき）に圧縮することができます。
対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。

| | ビットレート | サンプリング周波数 |
|---|---|---|
| ATRAC3 | 66/105/132 kbps | 44.1 kHz |
| ATRAC3plus | 48/64/256 kbps | 44.1 kHz |

### MP3 CD：
**SonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク****

対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。
可変ビットレート（VBR）にも対応しています。

| | ビットレート | サンプリング周波数 |
|---|---|---|
| MPEG-1 Layer3 | 32 - 320 kbps | 32/44.1/48 kHz |
| MPEG-2 Layer3 | 8 - 160 kbps | 16/22.05/23 kHz |
| MPEG-2.5 Layer3 | 8 - 160 kbps | 8/11.025/12 kHz |

対応しているID3タグのバージョンは、1.0/1.1/2.2/2.3/2.4です。ID3タグは曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットです。

### CD-Extra、Mix Mode CD:
**CD-DAフォーマットとCD-ROMフォーマットの共存しているディスク****

再生できないときは、OPTIONメニューの中の「CD-EXTRA」（☞32ページ）の設定を変更してください。再生できる場合があります。

SonicStageを使って作成したATRAC CDに、さらにSonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3の音声データを混在させた場合でも再生できます。
SonicStageでは、音声データの種類が混在したディスクを作ることはできません。

* ATRAC3plusはソニー株式会社の商標です。

** ISO 9660 Level 1/2形式とJoliet拡張形式でフォーマット済みのディスク。

次のページにつづく

## 著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

## DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

## 音楽CDとATRAC CD/MP3 CDのファイル構造の違いについて

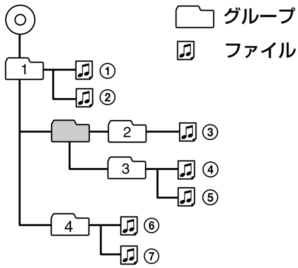
ATRAC CDとMP3 CDは、「グループ」と「ファイル」から成り立ちます。
「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので音楽CDの「アルバム」に相当します。
本機では、MP3 CDのフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

## 使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：256
- 最大ファイル数：999

## ATRAC CDやMP3 CDの再生について

ATRAC CDでは、SonicStageで選んだ曲順に再生されます。
MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。再生するMP3ファイルの順番を記載した「プレイリスト」も再生できます。右記MP3 CDの例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。




（使用できる最大ディレクトリ階層：8階層）

**ご注意**

- ATRAC3plusとMP3ファイルが混在したディスクでは、ATRAC3plusファイルを優先して再生します。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- ATRAC3plus/MP3の記録されているディスクには、それ以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。

**ATRAC CDについて**

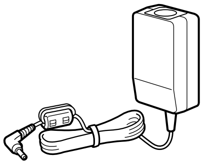
- ATRAC3plusファイルを書き込んだディスクは、パソコンのドライブでは再生できません。

**MP3 CDについて**

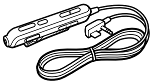
- MP3ファイルには、「mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- MP3ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。
- 未使用のCD-R/CD-RWディスクに最大容量まで1回で記録する場合は、書き込みソフトで「Disc at Once（ディスクアット ワンス）」の設定をしてください。

# 付属品を確かめる

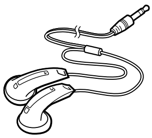
- ACパワーアダプター



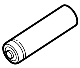
- リモコン（本機専用）



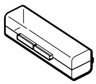
- ヘッドホン



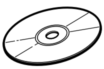
- 充電式電池（充電池）



- バッテリーキャリングケース



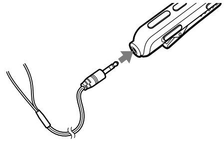
- CD-ROM（SonicStage）
  CDプレーヤー（本機を含む）で再生しないでください。



- 取扱説明書（本書）
- ソフトウェアインストール・操作ガイド
- 保証書
- アイワご相談窓口のご案内

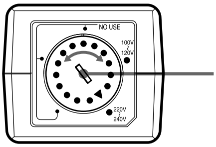
### ヘッドホンをリモコンにつなぐには

ヘッドホンのプラグをリモコンにしっかり差し込んでください。



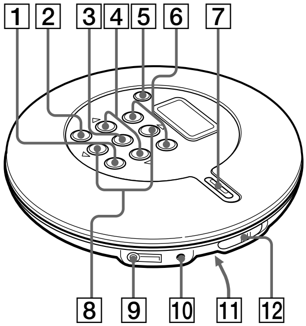
### 本機を海外へお持ちになるときは

付属のACパワーアダプターは、AC100V ～ 120V、220V ～ 240V、50/60Hzの範囲で切り替えて使用できます。使用する地域の電圧や電源コンセント形状などは旅行代理店などで確かめてください。
使用する地域の電源コンセント形状が付属のACパワーアダプターのプラグ形状と異なる場合は、ACプラグ変換アダプターを別途お買い求めください。
ACパワーアダプターをお使いになる前に、アダプターの電圧をお使いになる地域の電圧に合わせてください。日本国内の場合は「100V ～ 120V」です。

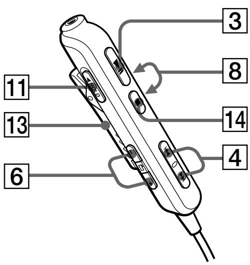


# 各部の名前

## 本体




## リモコン




1 SEARCHボタン（☞20、21、35ページ）

2 ■（停止）•RADIO OFF/CHGボタン
■（☞19-21、27-29、31ページ）
■•CHG（☞14ページ）
■•RADIO OFF（☞33ページ）

3 本体：
▶II（再生/一時停止）*/ENTER（決定）ボタン（☞18-21、23、25-28、30ページ）
リモコン：
▶II（再生/一時停止）*ボタン（☞18、19ページ）

4 本体：
I◀◀/▶▶I（◁/▷）ボタン（☞19、21、25、28、36、37ページ）
リモコン：
I◀◀/▶▶I•PRESET −/＋ボタン（☞19、36、37ページ）

5 RADIO ON/BAND•MEMORYボタン（☞33、35-37ページ）

6 🗀（グループ）＋/−•TUNE＋/−ボタン（☞19-21、26、33ページ）

7 DISPLAY/MENUボタン（☞22、23、25、27、30、34、37、38ページ）

8 本体：
VOL（Volume）＋*/−•△/▽ボタン
VOL＋*/−（☞18ページ）
△/▽（☞20、21、23、25-28、30ページ）
リモコン：
VOL（Volume）＋/−ボタン（☞18ページ）

9 🎧（ヘッドホン）ジャック（☞18ページ）

10 DC IN 3 Vジャック（☞14、16ページ）

11 HOLDスイッチ（本体は裏面）（☞20ページ）

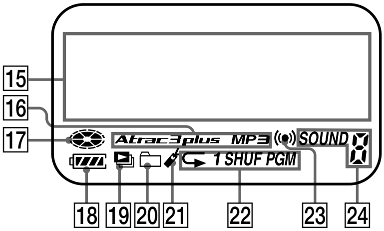
12 OPENつまみ（☞14、18ページ）

13 クリップ

14 ■（停止）RADIO ON/BAND•RADIO OFFボタン（☞33ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

## 本体表示窓




15 文字情報表示部（☞22ページ）

16 ATRAC3plus/MP3（アトラックスリープラス エムピースリー）表示（☞9ページ）

17 ディスク表示（☞18ページ）

18 電池残量表示（☞14、15ページ）

19 プレイリスト表示

20 グループ表示

21 ブックマーク表示（☞25ページ）

22 再生モード表示

23 タイマー表示（☞31ページ）

24 サウンド表示

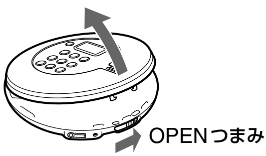
# 電池を充電する（充電式電池）

初めて使うときや電池が消耗したときは、充電式電池（充電池）を充電してください。充電池は消耗しきってから（表示窓に「Low Battery（ロー バッテリー）」が出る）充電すると、長持ちします。

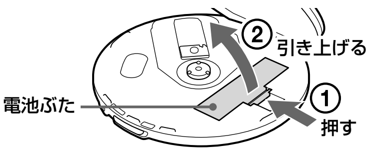
使用できる充電式電池

- NH-7WMAA（付属）
- NH-WM2AA（別売り）

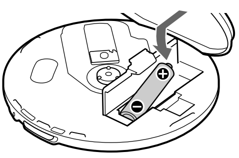
**1** **OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。**




**2** **電池ぶたを開ける。**



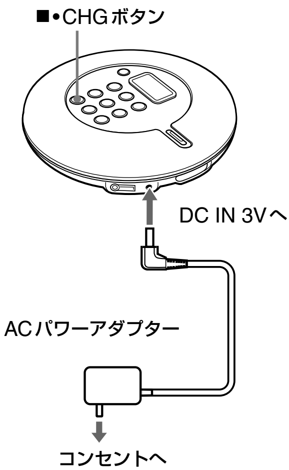

**3** **充電池を電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、電池ぶたと本体のふたを「カチッ」と音がするまで閉める。**



⊖側を先に入れる。

**4** **ACパワーアダプターをつなぎ、■•CHGボタンを押す。**

表示窓に「Charging（チャージング）」が点滅し、（電池残量）が流れるように点灯して、充電が始まります。



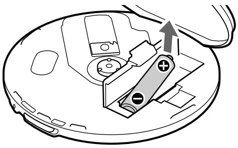

「Charging」が消えたら、充電終了です。

**ご注意**

- 充電池NH-7WMAA（付属）またはNH-WM2AA（別売り）以外は充電しないでください。
- 充電中は本体や充電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 長期間使用しないときは、本体から充電池を取り出してください。

### 充電池を取り出すときは

充電池を下の図のように取り出す。



### 充電池の持続時間と電池交換のめやすについて

初めて充電するときや長期間使用しなかったときは、充電しても持続時間が通常より短いことがあります。
その場合は、「Charging」が消えるまで充電後、充電池が消耗しきる（表示窓に「Low Battery」が出る）まで使い、これを何度か繰り返すと通常の状態に戻ります。
常温で使える時間の半分位で電池がなくなるときは、新しい充電池と交換してください。

### 充電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。
URL：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

## 乾電池で使うときは

ACパワーアダプターをはずしてから乾電池を入れます。

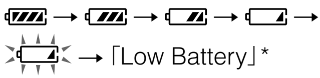
### 使用できる乾電池

単3形（LR6）アルカリ乾電池

1 OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。
2 電池ぶたを開ける。
3 単3形（LR6）アルカリ乾電池1本を乾電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、電池ぶたと本体のふたを「カチッ」と音がするまで閉める。

## 電池残量を確認する

表示窓に以下のように表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、残量が減っています。




*「ピー」という音がします。
電池が消耗しきったら、充電池は充電し、乾電池は交換してください。

**ご注意**

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。

次のページにつづく

### 電池の使用可能時間[1)]

| アルカリ乾電池1本[2)] 使用時 | | |
|---|---|---|
| | E•A•S•S GP<br>設定「1」 | E•A•S•S GP<br>設定「2」 |
| 音楽CD | 約22時間 | 約20時間 |
| ATRAC CD[3)] | 約41時間 | 約38時間 |
| MP3 CD[4)] | 約26時間 | 約24時間 |
| ラジオON時 | 約30時間 | |

| NH-7WMAA 1本使用時（約5時間充電[5)]） | | |
|---|---|---|
| | E•A•S•S GP<br>設定「1」 | E•A•S•S GP<br>設定「2」 |
| 音楽CD | 約10時間 | 約9時間 |
| ATRAC CD[3)] | 約17時間 | 約15時間 |
| MP3 CD[4)] | 約12時間 | 約11時間 |
| ラジオON時 | 約12時間 | |

1）電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。
「POWER SAVE」を「ON」に設定し（☞31ページ）、本体を水平に置いて振動のない状態で再生した場合の目安です。再生時間は使用状況によって変わります。

2）日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定。

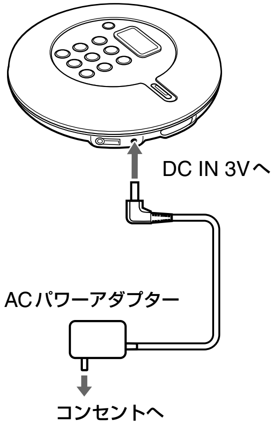
3）48 kbpsで記録されたCDの場合。

4）128 kbpsで記録されたCDの場合。

5）充電時間は充電池の使用状態により異なります。

## ACパワーアダプターで使うときは

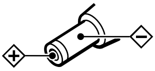
電池を使わずに、ACパワーアダプターをつないで使えます。
お使いになる前にアダプターの電圧をお使いになる地域の電圧に合わせてください（☞11ページ）。




**1** ACパワーアダプターを本体のDC IN 3Vジャックにつなぐ。

## AC パワーアダプターについてのご注意

- 本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。
- 付属のACパワーアダプターを使ってください。他のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。

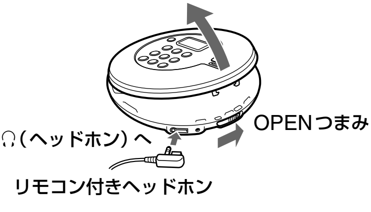



- ACパワーアダプターは手が容易に届く電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はコンセントから速やかに抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使わないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

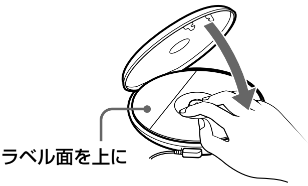
# 再生する

**1** OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。

あらかじめリモコン付きヘッドホンを本体につないでおきます。




**2** CDを入れ、ふたを閉める。




**3** ▶II/ENTERボタンを押す。

表示窓の （ディスク）が動画に変わり、再生が始まります。

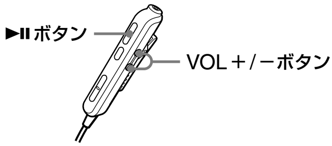



**4** VOL＋/－ボタンを押して音量を調節する。



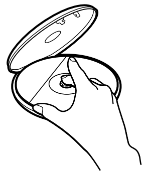

### リモコンで操作するときは

CDを入れ、▶IIボタンを押し、VOL＋/－ボタンを押して音量を調整する。




### CDを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげる。



# 再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出し）

| こんなときは | | 操作 |
|---|---|---|
| **再生** | 1曲目から再生する | 停止中に、再生が始まるまで ►II/ENTER ボタン（リモコンでは ►II ボタン）を押したままにする。 |
| **停止** | 一時停止する/一時停止を解除する | ►II/ENTER ボタンを押す。 |
| | 再生を止める | ■ボタンを押す。 |
| **頭出し** | 今聞いている曲を頭出しする[1] | I◄◄ ボタンを1度押す。 |
| | 前の曲、さらに前の曲を頭出しする[1] | I◄◄ ボタンを繰り返し押す。 |
| | 次の曲を頭出しする[1] | ►►I ボタンを1度押す。 |
| | さらに先の曲を頭出しする[1] | ►►I ボタンを繰り返し押す。 |
| | 早戻しする[1] [3] | I◄◄ ボタンを押したままにする。 |
| | 早送りする[1] [3] | ►►I ボタンを押したままにする。 |
| | グループを送る[2] | 🗀＋ボタンを繰り返し押す。 |
| | グループを戻す[2] | 🗀－ボタンを繰り返し押す。 |

1）再生中または一時停止中のみ操作できます。

2）音楽CD以外のCDを再生中のみ操作できます。

3）パケットライトされたMP3再生では操作できません。

次のページにつづく ⟶

## 誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。

**1 本体裏面またはリモコンのHOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。**

本体のHOLD機能が働いているときに操作しようとすると、表示窓に「HOLD」が点滅します。

本体とリモコン別々に、誤操作防止状態（HOLD）にできます。例えば、本体をHOLDにしても、リモコンをHOLDにしなければ、リモコンで操作できます。

### HOLDを解除するには

本体またはリモコンのHOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

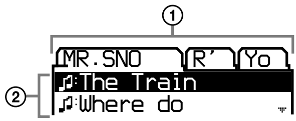
# 曲を探して再生する

## グループで探す（File View）

ATRAC CDやMP3 CDなどたくさんの曲を記録したディスクで、前後のグループ名（音楽CD以外）と曲名を確認しながら曲を探せます。本体のみで行うことができます。

**1 本体のSEARCHボタンを繰り返し押す。**

再生中の曲の前後の曲名とグループ名が表示されます。




①グループ名
②グループ内の曲名

**2 🗀+または🗀–ボタンを押してグループを選ぶ。**

**3 △または▽ボタンを押して曲を選ぶ。**

**4 ►II/ENTERボタンを押して曲を決定する。**

選んだ曲の再生が始まります。

### 操作を途中でやめるには

■ボタンを押す。

## 一覧から探す（List View）

曲のフォーマット、グループ名、曲名などの一覧を確認しながら曲を探せます。本体のみで行うことができます。

**1** **本体のSEARCHボタンを繰り返し押す。**




音声データの種類が混在したCDを再生する場合：

はじめにATRACやMP3などフォーマットを選ぶ画面が表示されます。

►II/ENTERボタンを押して決定します。

**2** **△または▽ボタンを押してグループを選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**3** **△または▽ボタンを押して曲を選ぶ。**

**4** **►II/ENTERボタンを押して曲を決定する。**

選んだ曲の再生が始まります。

### 1つ前の画面に戻るには

I◄◄ボタンまたは🗀−ボタンを押す。

### 操作を途中でやめるには

■ボタンを押す。

## 表示窓で情報を見る

本体の表示窓で、CDの詳しい情報を確認できます。

ID3タグ入りのMP3 CDでは、ID3タグの情報が表示されます（ID3タグ情報がないときは、ファイル名またはグループ名）（☞9ページ）。

**ご注意**

- 表示できる文字は、英数字と記号（半角のみ）のみです。
- ファイルを再生する前に、本機はCDに記録されているファイルとグループまたはフォルダの全情報を読み込み、「Reading（リーディング）」と表示されます。CDの内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- グループに属さないファイルはグループ名が「MP3 ROOT（ルート）」と表示されます。

次のページにつづく ⟶

本体のDISPLAY/MENUボタンを繰り返し押す。

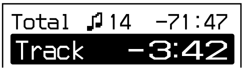
**音楽CDの場合**

**曲番、現在の再生時間（アーティスト名、曲名）**[1)]




↓

**総曲数、CDの残り時間、再生中の曲の残り時間**[2)]




↓

File view画面




**ATRAC CD/MP3 CDの場合**

**ファイル名、アーティスト名**[3)]**、ファイル番号、現在の再生時間**



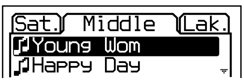

↓

**グループ名、CODEC情報**[4)]**、総ファイル数**




↓

File view画面




1) CD-TEXTなど文字情報が入っている場合、表示されます。

2) 通常再生のときのみ表示されます。

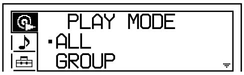
3) 再生中、ID3タグが入っていない場合はアーティスト名は表示されません。サーチ画面ではアーティスト名、グループ名は表示されません。

4) ビットレート、サンプリング周波数。VBR（可変ビットレート）で作成されたMP3ファイルを再生しているときは、ビットレート部分に「VBR」と表示されます。曲の途中から表示される場合もあります。

# 再生方法（PLAY MODE）を変える

好きな曲だけを聞いたり、順番を並べかえて聞くことができます。
再生方法（PLAY MODE）について詳しくは、☞24ページをご覧ください。
また、選んだ再生方法を繰り返して聞くこともできます（リピート再生、☞27ページ）。

**1** メニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

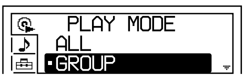



：PLAY MODE（プレイモード）
：SOUND（音質設定）
：OPTION（各種設定）

**2** △または▽ボタンを押して「PLAY MODE」を選び、►II ボタンを押す。

**3** △または▽ボタンを押して再生方法を選ぶ。

初期設定は「ALL」です。




**4** ►II/ENTERボタンを押して決定する。

**5** 「REPEAT」が出たら△または▽ボタンを押して「ON」または「OFF」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。




### 通常再生に戻るには

PLAY MODEメニューで「ALL」を選ぶ。

次のページにつづく ⟶

# 再生方法（PLAY MODE）一覧

| 本体 | 説明 |
|---|---|
| ALL<br>（通常再生） | CDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。<br>ATRAC CD/MP3 CDの場合は、OPTIONメニューのPLAY ORDERの設定によって、再生順が異なります。 |
| GROUP<br>（グループ再生） | 選んだグループに含まれる全曲または全グループを再生します（ATRAC CD/MP3 CDのみ）（☞25ページ）。 |
| 1<br>（1曲再生） | 現在再生中の曲だけを1回再生します。 |
| SHUFFLE<br>（シャッフル再生） | CDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。 |
| GROUP SHUFFLE<br>（グループシャッフル再生） | 選んだグループの全曲を、順不同に1回再生します（ATRAC CD/MP3 CDのみ）（☞25ページ）。 |
| BOOKMARK<br>（ブックマーク再生） | 聞きたい曲にブックマーク（しおり）を付けて、その曲だけを再生します。ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の小さいほうから再生が始まります（☞25ページ）。 |
| PLAYLIST<br>（m3uプレイリスト再生） | 選んだm3uプレイリスト*の曲を再生します（MP3 CDのみ）（☞26ページ）。 |
| AUTO RANKING<br>（オートランキング再生） | 再生中のCDのよく聞く曲を本機が自動的に記憶して、10位から順に1位まで再生します。 |
| RANKING SHUF<br>（オートランクシャッフル再生） | 本機が自動的に記憶したよく聞く曲最大32曲を順不同に再生します。 |
| PROGRAM<br>（プログラム再生） | 最大64曲まで、好きな曲順に並べ換えて再生します（☞26ページ）。 |
| INTRO<br>（イントロ再生） | 再生中の曲に続く曲の最初の約10秒を1回再生します。<br>イントロ再生中にブックマークを付けることもできます（☞25ページ）。 |

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/CD-RWを作成したときに使用できます。ファイル名で並べたリストの先頭の8つまで扱えます。

## グループを再生する

**1** **「再生方法（PLAY MODE）を変える」（☞23ページ）の手順1、2を行い、手順3で「GROUP」または「GROUP SHUFFLE」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**2** **△または▽ボタンを押してグループを選ぶ。**

MP3 CDなどで、階層を移動してグループを選ぶ場合は、I◄◄または►►Iボタンを押し、階層内でグループを選ぶ場合は、△または▽ボタンを押します。

**3** **►II/ENTERボタンを2秒以上押す。**

選んだグループに含まれる全ての曲の再生が始まります。

**4** **「REPEAT」が出たら△または▽ボタンを押して「ON」または「OFF」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**ご注意**

グループの中に曲が入っていない場合、「Invalid」と表示されます。

## 聞きたい曲だけ再生する（ブックマーク再生）

**1** **ブックマークを付けたい曲の再生中に、✐がゆっくり点滅するまで►II/ENTERボタンを押したままにする。**

**2** **複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順1を繰り返す。**

音楽CDは10枚まで（1枚につき最大99曲）、ATRAC CDとMP3 CDは5枚まで（1枚につき最大999曲）ブックマークを付けられます。

**3** **メニュー画面が出るまでDISPLAY/MENUボタンを押したままにする。**

**4** **△または▽ボタンを押して「PLAY MODE」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**5** **△または▽ボタンを押して「BOOKMARK」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**6** **「REPEAT」が出たら△または▽ボタンを押して「ON」または「OFF」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

次のページにつづく ⟶

### ブックマークを消すには

ブックマークを付けた曲の再生中に、✎が消えるまで、►II/ENTERボタンを押したままにする。

**ご注意**

- 11枚以上（ATRAC CD/MP3 CDの場合、6枚以上）のCDにブックマークを付けようとすると、すでにブックマークが付いているCDのうちで、最初に再生したCDのブックマークから消えていきます。
- 電源をすべて外したときと、「Low Battery」が表示される充電池を充電しないまま使ったときは、登録されていたすべてのブックマークが消えます。

## 選んだプレイリストの曲を再生する（m3uプレイリスト再生）

**1** **「再生方法（PLAY MODE）を変える」の手順3（☞23ページ）で「PLAYLIST」を選ぶ。**

**2** **△または▽ボタンを押してリストを選ぶ。**

**3** **►II/ENTERボタンを押して決定する。**

## 好きな曲順で再生する（プログラム再生）

**1** **停止中に「再生方法（PLAY MODE）を変える」の手順3（☞23ページ）で「PROGRAM」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**




**2** **△または▽ボタンを押して曲を選び、►II/ENTERボタンを表示が変わるまで押したままにして決定する。**

ATRAC CD/MP3 CDでは、🗀＋または🗀－ボタンを押して、別のグループの曲を選べます。

**3** **手順2を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。**

64曲まで設定できます。64曲を選ぶと、最初に選んだ曲番（音楽CD）またはファイル名（ATRAC CD/MP3 CD）が表示されます。65曲以上選ぶと、最初に選んだ曲から順に消えていきます。

**4** **►II/ENTERボタンを押す。**

選んだ順に再生が始まります。

**選んだ曲順を確認するには**

**1** 停止中に「再生方法（PLAY MODE）を変える」の手順**3**（☞23ページ）で「PROGRAM」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**2** ►II/ENTERボタンを表示が変わるまで押す。
押すたびに、再生順に曲が表示されます。

**操作を途中でやめるには**

■ボタンを押す。

## 繰り返し聞く（リピート再生）

「再生方法（PLAY MODE）を変える」の操作（☞23ページ）を行い、手順**5**で「ON」を選ぶ。

**通常の再生に戻すには**

「OFF」を選ぶ。

# 音質を変える

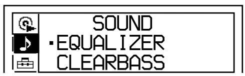
設定項目と内容について詳しくは、☞29ページをご覧ください。

## 好みの音質を選ぶ

「EQUALIZER（音質設定）」、「CLEARBASS（低音強調設定）」の2つの設定が可能です。両方設定すると、より重低音が楽しめます。

**1** **メニュー画面が出るまでDISPLAY/MENUボタンを押したままにする。**

**2** **△または▽ボタンを押して「♪SOUND」を選び、►IIボタンを押す。**




**3** **△または▽ボタンを押して設定したい項目を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**4** **△または▽ボタンを押して設定内容を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

次のページにつづく ⟶

## 好みの音質に細かく設定する（CUSTOM）

表示窓で波の高さと位置を見ながら、音域ごとにさらに細かく音質を設定できます。

**1** **「好みの音質を選ぶ」の手順3（☞27ページ）で「EQUALIZER」を、手順4で「CUSTOM」を選ぶ。**

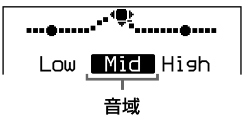
初めに「Low（ロー）」が表示されます。
3つの音域（低音域の「Low」、中音域の「Mid（ミディアム）」、高音域の「High（ハイ）」）があります。




**2** **調整したい音域が表示されるまで、⏮ または ⏭ ボタンを2秒以上繰り返し押して選ぶ。**

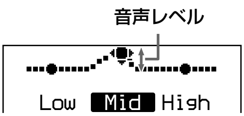
**3** **⏮ または ⏭ ボタンを繰り返し押して音域を選ぶ。**

各音域にはさらに3段階あります。




**4** **△または▽ボタンを押して音声レベルを選ぶ。**

7段階で調節できます。




**5** **手順2 〜 4を繰り返して残りの音域の設定を行う。**

**6** **►II/ENTERボタンを押して決定する。**

### 1つ前の画面に戻るには

■ボタンを押す。

### 途中で設定をやめるには

■ボタンを2秒以上押したままにする。

**ご注意**

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「CUSTOM」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

# 音質設定項目一覧

1つ前の状態に戻るには■ボタンを押します。設定を途中でやめるには■ボタンを2秒以上押したままにします。

| 項目 | 設定内容（●：お買い上げ時の設定） | |
|---|---|---|
| EQUALIZER<br>（音質設定） | ● OFF | 通常の音質。 |
| | SOFT | 中域を強調したヴォーカルなどに適した音質。 |
| | ACTIVE | 低域と高域を強調したメリハリのある音質。 |
| | HEAVY | 低域と高域をさらに強調した迫力のある音質。 |
| | CUSTOM | 自分で設定した音質（設定方法は☞28ページ）。 |
| CLEARBASS<br>（低音強調設定） | ● OFF | 通常の音質。 |
| | 1 | 低域を強調した音質。 |
| | 2 | 1より低域を強調した音質。 |
| | 3 | 2より低域を強調した音質。 |

再生

**ご注意**

「CLEARBASS」を設定した後に「EQUALIZER」設定を変更すると、「EQUALZER」設定が優先されます。「EQUALIZER」と「CLEARBASS」の両方を設定する場合は、「EQUALIZER」設定を先に行ってください。

次のページにつづく

# 設定を変える

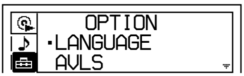
設定項目と内容について詳しくは、「各種設定項目一覧」（☞31ページ）をご覧ください。

## いろいろな機能の設定をする

メニューを表示する言語や再生順などの設定を変えることができます。

**1** **メニュー画面が出るまでDISPLAY/MENUボタンを押したままにする。**

**2** **△または▽ボタンを押して「OPTION」を選び、►II ボタンを押す。**




**3** **△または▽ボタンを押して設定したい項目を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**4** **△または▽ボタンを押して設定内容を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

「LANGUAGE」または「PLAY ORDER」を設定する場合は、手順**3**を繰り返します。

# 各種設定項目一覧

1つ前の状態に戻るには■ボタンを押します。設定を途中でやめるには■ボタンを2秒以上押したままにします。

| 項目 | 設定内容（●：お買い上げ時の設定） | | |
|---|---|---|---|
| LANGUAGE [1] | MENU | ● ENGLISH | メニューや警告表示の言語を選べます。 |
| | | FRENCH | |
| | | GERMAN | |
| | | ITALIAN | |
| | | PORTUGUESE | |
| | | RUSSIAN | |
| | | SPANISH | |
| | TEXT [2] [7] | ● AUTO（自動設定） | CD-TEXT、ID3タグ、ファイル/グループ名の言語を選べます。 |
| | | ENGLISH | |
| | | FRENCH | |
| | | GERMAN | |
| | | ITALIAN | |
| | | PORTUGUESE | |
| | | RUSSIAN | |
| | | SPANISH | |
| EASS GP [3]（音飛び防止） | ● 1 | 音飛びを抑えながら、CD本来の高音質で再生します。 | |
| | 2 | さらに音飛びに強くなります。 | |
| AVLS [1] [4]（快適音量） | ● OFF | 音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。 | |
| | ON | 音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。 | |
| TIMER [1]（タイマー設定） | ● OFF | タイマーは働きません。 | |
| | 1-99 min | 本体の表示窓に(•)が点灯します。再生中に再度表示させれば、停止までの時間を確認できます。<br>△または▽ボタンを押すたびに5分ごと、△または▽ボタンを押しつづけると1分ごとに時間を設定できます。<br>お買い上げ時の設定は「10 min」です。 | |
| BEEP [1]（操作確認音） | ● ON | 操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。 | |
| | OFF | 確認音は鳴りません。 | |
| SEAMLESS [2] [5]（無曲間再生） | ● OFF | 曲間をそのまま再生します。 | |
| | ON | 曲間を空けずに、つながっているように再生します。 | |
| POWER SAVE [2]（パワーセーブ） | ● OFF | POWER SAVE機能は働きません。 | |
| | ON | SOUNDの設定は無効になります。 | |

次のページにつづく

| 項目 | 設定内容（●：お買い上げ時の設定） | | |
|---|---|---|---|
| PLAY ORDER 2)<br>（再生順設定） | TRACK | ● NORMAL | 書き込み順に再生します。 |
| | | ID3TAG TNO | ID3タグの番号順に再生します。 |
| | | FILE NAME | ファイル名順に再生します。 |
| | GROUP | ● OFF | 書き込み順に再生します。 |
| | | ON | グループ名順に再生します。 |
| CD-EXTRA 2) 6) | ● OFF | 通常使用時の設定です。 | |
| | ON | CD-EXTRAが正しく再生できない場合、再生できることがあります。 | |
| TUNE STEP 7)<br>（周波数間隔変更） | AREA1 | お聞きになる地域に合わせてAMの周波数間隔を変えることができます（☞38ページ）。 | |
| | AREA2 | | |
| | ● AREA3 | | |
| PRESET CLEAR 7)<br>（プリセット局一括消去） | Clear? | 記憶させた放送局を一度に消去します。 | |

1）ラジオ受信中にも設定できます。

2）停止中のみ設定できます。

3）E•A•S•SはElectronic（エレクトロニック） Anti-Shock（アンティショック） System（システム）の略です。停止中にのみ設定できます。

4）Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

5）ATRAC CDのみ設定できます。

6）音楽CDとCD-Extraのみ設定できます。

7）ラジオがOFFのときのみ設定できます。

## ご注意

- 「EASS GP」を「2」に設定していても、次のような場合、音が飛ぶことがあります。
  - 強い衝撃が連続的に与えられたとき
  - 傷や汚れのあるCDのとき
  - CD-R/CD-RW：品質や、記録に使用したレコーダーの状態に問題があるとき
- 「SEAMLESS（シームレス）」を「ON」に設定していても、ソースの録音状態によっては曲がつながらないときがあります。

# ラジオを聞く

FM、AM、TV（テレビ）の放送を聞くことができます。

**1** **RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してラジオをつける。**

**2** **RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してFM、AMまたはTVを選ぶ。**

ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

→FM→AM→TV─┐（TVからFMに戻る）

**3** **TUNE ＋または－ボタンを押して聞きたい放送局に合わせ、音量を調節する。**

### リモコンで操作するときは

1 ■ RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける。

2 ■ RADIO ON/BANDボタンを押してFM、AMまたはTVを選ぶ。

3 TUNE＋または－ボタンを押して聞きたい放送局に合わせ、音量を調節する。

### ラジオを止めるには

■•RADIO OFFボタンを押す。

### 聞きたい局をすばやく受信するには

「ラジオを聞く」の手順3で、受信周波数が自動的に変わり始めるまで、TUNE＋またはTUNE－を押したままにします。
放送局を受信すると自動的に止まり、放送が聞こえます。

## 低音を強調する

1 ラジオ受信中にメニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

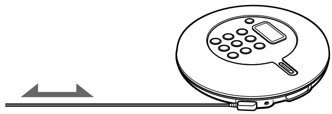
2 △または▽ボタンを押して「♪ SOUND」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

3 「BASS」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

4 △または▽ボタンを押して「ON」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

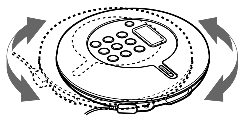
### よい受信状態で聞くには

**FMの場合：**ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけのばしてお使いください。



ヘッドホン

**AMの場合：**CDプレーヤーの向きを変えて最もよく受信できる状態を選んでください。



**ご注意**

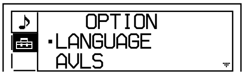
ヘッドホンはCDプレーヤーの🎧（ヘッドホン）ジャックにつないだままにしてください。ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。

次のページにつづく

### 電波が強過ぎてFMステレオ放送が受信しにくいときは

**1** FM放送受信中にメニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

**2** △または▽ボタンを押して「OPTION」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。




**3** △または▽ボタンを押して「LOCAL/DX」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**4** △または▽ボタンを押して「LOCAL」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

### 電波が弱くてFMステレオ放送が受信しにくいときは

**1** FM放送受信中にメニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

**2** △または▽ボタンを押して「OPTION」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**3** △または▽ボタンを押して「MONO/STEREO」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**4** △または▽ボタンを押して「MONO」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

雑音は減りますが、モノラル放送に変わります。

## 音もれを抑える（AVLS機能）

音量の上げすぎによる音もれ、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことによる危険などを少なくするために、音量をある一定以上に上げないようにします。

**1** ラジオ受信中にメニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

**2** △または▽ボタンを押して「OPTION」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**3** △または▽ボタンを押して「AVLS」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**4** △または▽ボタンを押して「ON」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

### AVLS機能を解除するには

手順**1**～**4**を行い、AVLS設定を「OFF」にする。

## 設定時間後にラジオを消す

指定した時間がたつと、自動的にラジオが消えます（電源が切れます）。1分から99分までの間で1分刻みで設定できます。

**1** ラジオ受信中にメニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

**2** △または▽ボタンを押して「OPTION」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。

**3** △または▽ボタンを押して「TIMER」を選び、▶II/ENTERボタンを押して決定する。

**4** △または▽ボタンを押して「時間」（お買い上げ時の設定は「10min」）を選び、▶II/ENTERボタンを押して決定する。

**5** △または▽ボタンを押して時間を設定し、▶II/ENTERボタンを押して決定する。

△または▽ボタンを押すたびに5分ごと、△または▽ボタンを押しつづけると1分ごとに設定できます。

### ラジオが消えるまでの時間を確認するには

ラジオを聞いているときに手順**1**～**4**を行う。

### タイマー機能を解除するには

次の場合、タイマー機能は解除されます。

- 「設定時間後にラジオを消す」の手順**4**でTIMER設定を「OFF」にした場合
- ラジオを消した場合
- CDの演奏を始めた場合

## 電池でラジオをお聞きの場合は

DC IN 3Vジャックに外部電源のプラグを差し込むとラジオは切れます。続けてラジオを聞くには、もう一度RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してラジオをつけてください。

# 放送局を記憶させる

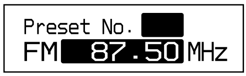
FM30局、AM10局、テレビ7局、合計47局まで記憶させることができます。

**1** **RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してラジオをつける。**

**2** **RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してFM、AMまたはTVを選ぶ。**

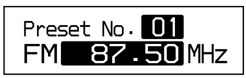
**3** **SEARCHボタンを3秒以上押す。**

周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局のチェックが始まります。受信するとそこで約3秒間止まります。




**4** **受信した局を記憶させたいときは、▶II/ENTERボタンを押す。**

受信した局がプリセット番号1に記憶され、再びチェックが始まります。受信してから3秒以内に▶II/ENTERボタンを押さないと、その局は記憶されず、次の局のチェックが始まります。




**5** **受信可能な局をすべてチェックして必要な局を記憶させるまで、手順4を繰り返す。**

新しい局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた局は消えます。

次のページにつづく ⟶

**ご注意**

受信可能なすべての放送局のチェック終了後にプリセット登録が完了します。すべての放送局のチェックが終わる前に設定を中止するとプリセット登録は行われません。

## 手動で放送局を記憶させる

**1** RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してラジオをつける。

**2** RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してFM、AMまたはTVを選ぶ。

**3** TUNE＋または－ボタンを押して聞きたい放送局に合わせる。

**4** 表示窓にプリセット番号が表示されるまでRADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押したままにする。

```
Preset-01
FM   87.50 MHz
```

放送局が記憶されるとビープ音が鳴り、プリセット番号がひとつ繰り上がります。

**5** 同じバンドの放送局を記憶させるときは、手順**3**と**4**を繰り返す。
他のバンドの放送局を記憶させるときは、RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してバンドを選ぶ。その後、プリセット番号が表示されるまで、手順**3**と**4**を繰り返す。

**ご注意**

プリセット番号は自動的に決まります。番号を選ぶことはできません。

### 記憶させた放送局を変えるには

**1** 「手動で放送局を記憶させる」の手順**1**と**2**を行う。

**2** ⏮ または ⏭ ボタン（リモコンではPRESET－または＋ボタン）を押して、変えたい放送局のプリセット番号を選ぶ。

**3** RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを2秒以上押す。

```
Preset No. 01
FM   87.50 MHz
```

**4** TUNE＋または－ボタンを押して聞きたい放送局に合わせる。
この操作は、手順**3**を終了してから30秒以内に行ってください。30秒以内に行わなかった場合は、手順**2**からもう一度やり直してください。

**5** ▶II/ENTERボタンを押したままにする。
放送局が変更されると、ビープ音が鳴ります。

### 記憶させた放送局を1局ずつ消すには

**1** 「記憶させた放送局を変えるには」の手順**1**から**3**を行う。

**2** ■•RADIO OFFボタンを表示が変わるまで押したままにする。
最後に記憶させた放送局が消されて、次のプリセット番号がひとつ減ります。

### 記憶させた放送局を一度に消すには

**1** ラジオがOFFで、CDの再生が停止しているときに、メニュー画面が出るまでDISPLAY/MENUボタンを押したままにする。

**2** ▵または▿ボタンを押して「OPTION」を選び、►II/ENTERボタンを押す。

**3** ▵または▿ボタンを押して「PRESET CLEAR」を選び、►II/ENTERボタンを押す。

「Clear?」と表示されます。

►II/ENTERボタンを押すと、記憶させた放送局が一度に消えます。

# 記憶させた放送局を聞くには

I◄◄または►►Iボタン（リモコンではPRESET－または＋ボタン）を押して、簡単にお好きな放送局を受信することができます。

**1 RADIO ON/BAND•MEMORYボタンを押してFM、AMまたはTVを選ぶ。**

**2 I◄◄または►►Iボタン（リモコンではPRESET－または＋ボタン）を押して、記憶させた局のプリセット番号を選ぶ。**

# 海外でお使いになるときは

AMの周波数間隔を変えることができます。お聞きになる地域によって、「AREA1」、「AREA2」または「AREA3」に合わせてください。

### 周波数範囲

| | |
|---|---|
| **AREA1：アジア、ヨーロッパ、オーストラリア** | |
| FM：87.5 - 108 MHz（50 kHzステップ） | |
| AM：531 - 1710 kHz（9 kHzステップ） | |
| **AREA2：米国、カナダ、ラテンアメリカ** | |
| FM：87.5 - 108 MHz（100 kHzステップ） | |
| AM：530 - 1710 kHz（10 kHzステップ） | |
| **AREA3：日本** | |
| FM：76.0 - 90 MHz（100 kHzステップ） | |
| AM：531 - 1710 kHz（9 kHzステップ） | |

以下の操作はラジオがOFFで、CDが停止しているときに行ってください。

**1** **メニュー画面が出るまで、DISPLAY/MENUボタンを押したままにする。**

**2** **△または▽ボタンを押して「OPTION」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**3** **△または▽ボタンを押して「TUNE STEP」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**4** **△または▽ボタンを押して「AREA1」、「AREA2」または「AREA3」を選び、►II/ENTERボタンを押して決定する。**

**ご注意**

周波数間隔を変えたときは、記憶させていた放送局の情報は失われます。再び入れ直してください。

# 故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度以下の流れにしたがって、問題をチェックしてください。

**1** 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

**2** 「アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/で調べる。

**3** 手順**1**、**2**を確認しても問題が解決しないときは、アイワお客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

## 電源

| 症状 | 原因 / 処置 |
| --- | --- |
| **充電できない。** | ➔ 充電池が入っていない。充電池を入れる（☞14ページ）。<br>➔ リモコンの■ボタンを押した。停止状態で本体の■/CHGボタンを押す。 |

## 音声

| 症状 | 原因 / 処置 |
| --- | --- |
| **VOL＋ボタンを押し続けても音量が小さすぎる。** | ➔「AVLS」が「ON」になっている。「OFF」にする（☞31ページ）。 |
| **音が出ない。雑音が聞こえる。** | ➔ ヘッドホンのプラグをしっかり差し込む。<br>➔ ヘッドホンのプラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布で拭く。 |
| **CDのすれる音がする。** | ➔ 電池ぶたをしっかり閉める（☞14ページ）。 |
| **「SOUND」の設定ができない。** | ➔ POWER SAVEが「ON」になっている。「OFF」にする（☞31ページ）。 |

次のページにつづく

## 操作/再生

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| 再生時間が短い。再生できない。 | → マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。<br>→ 新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。<br>→ 充電池のときは、何回か充電と放電（本体に入れて再生）を繰り返す（☞15ページ）。 |
| 曲が再生されない。 | → 本機で再生可能なフォーマット以外のファイルを再生しようとした（☞9ページ）。<br>→ OPTIONメニューの中の「CD-EXTRA」の設定を変更する。再生できる場合があります（☞32ページ）。 |
| 「Low Battery」が表示され、再生が始まらない。 | → 充電池が消耗している。充電する（☞14ページ）。<br>→ 乾電池が消耗している。新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。 |
| 「Hi DC in」が表示される。 | → 定格を超えたACパワーアダプターを使用している。ACパワーアダプターは付属のものを使う。 |
| 再生が始まらない。または、CDを入れても「No Disc」が表示される。 | → CDが汚れているときは、CDをクリーニングする。CDに大きな傷があるときは、CDを交換する。<br>→ CDのラベル面を上にして入れる（☞18ページ）。<br>→ 結露している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。<br>→ 電池ぶたをしっかり閉める（☞14ページ）。<br>→ 充電池または乾電池を正しく入れる（☞14、15ページ）。<br>→ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む（☞16ページ）。<br>→ ACパワーアダプターを接続して1秒以上たってから、►II/ENTERボタンを押す。<br>→ CD-R/CD-RWに何も記録されていない。<br>→ CD-R/CD-RWは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合がある。 |
| ボタンを押すと本体の表示窓で「HOLD」が点滅し、再生が始まらない。 | → HOLD（誤操作防止状態）になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLDを解除する（☞20ページ）。 |
| 止めたところから再生が始まる（リジューム機能）。 | → リジューム機能が働いている。1曲目から再生を始めるには、停止中に►II/ENTERボタン（リモコンでは►IIボタン）を再生が始まるまで押したままにする（☞19ページ）。または本体のふたを開ける。あるいはすべての電源をはずして、接続し直す。 |
| ATRAC CDまたはMP3 CDの再生中に、CDが回転しないが再生は正常に聞こえる。 | → 本機はATRAC CDとMP3 CDの再生中は電力消費を減らすためにCDの回転を止めるように設計されているため、故障ではありません。 |

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| ►II/ENTERボタン（リモコンでは►IIボタン）を押した後や本体のふたを閉めたときに、「No File」が表示される。 | → CD-R/CD-RWにATRAC3plus/MP3ファイルが含まれていない。<br>→ CD-R/CD-RWに何も記録されていない。<br>→ CDが汚れている。 |
| 液晶表示が見えにくい。表示の変わりかたがゆっくりになる。 | → 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）で使用している。常温になれば、元に戻る。 |
| ブックマーク再生を選んでいないのに（ブックマーク）が点滅する。 | → ブックマーク再生以外の再生方法を選んだ場合は（ブックマーク）が点滅します。 |
| 突然、再生が止まった。 | → タイマーが設定されている。「TIMER」を「OFF」にする（☞31ページ）。<br>→ 充電池または乾電池が消耗した。充電池は充電し（☞14ページ）、乾電池は新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。 |
| タイマー機能が解除される。 | → CDプレーヤーとしてタイマーを設定したときは、ラジオを受信するとタイマーが解除されます。ラジオを聞いているときにタイマーを設定したときは、ラジオを止めたりCDを演奏すると、タイマーが解除されます。 |
| 操作ができなくなり、本体およびリモコンに8桁の英字または数字が表示される。 | → ディスクによって起きる場合があります。電池とACパワーアダプターをはずし、再度装着してから操作してください。再び、8桁の英字または数字が表示される場合は、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。 |

## ラジオ

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| ラジオを聞いているとき、音が小さかったり、雑音が出る。 | → 充電池または乾電池が消耗した。充電池は充電し（☞14ページ）、乾電池は新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。 |
| | → 本機をテレビやパソコンなどの電子機器から遠ざける。 |
| | → 本機をACパワーアダプターから遠ざける。 |

## その他

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| 本体のふたを閉めるとディスクが回転する。 | → ディスクの情報を読んでいるためで、故障ではありません。 |
| リモコンで正常な操作ができない。 | → 本体の操作ボタンが誤って押されたままになっている。<br>→ リモコンがしっかり接続されていない。 |

# お手入れ

### キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

# 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

**それでも具合が悪いときはサービスへ**

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

# 主な仕様

## CDプレーヤー

**型式**
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

**復号化（D/A）**
1 bitクォーツ時間軸制御

**周波数特性***
20 Hz ～ 20 000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB

**出力端子（電源電圧3 V時）**
- ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　5 mW＋5 mW
  （JEITA/16 Ω）
  推奨負荷インピーダンス　16 Ω

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

## ラジオ

**周波数範囲**
FM: 76.0 - 90.0 MHz
AM: 531 - 1710 kHz
TV: 1-12 ch

**アンテナ**
FM: ヘッドホンコードアンテナ
AM: 内蔵フェライトバーアンテナ

## 電源・その他

**電源**
- 充電式ニッケル水素電池NH-7WMAA
  1本（付属）: DC 1.2 V × 1
- 単3形（LR6）アルカリ乾電池1本（別売り）:
  DC 1.5 V × 1
- 外部電源ジャック : 定格DC 3 V
  ACパワーアダプター（付属）を接続してAC
  100 V ～ 240 V電源から使用可能

**動作温度**
5℃～ 35℃

**本体寸法**（幅×高さ×奥行き）
約137.8×25.0×137.8 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

**最大外形寸法**（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約137.8×30.1×137.8 mm

**質量**
本体: 約179 g
約204 g（充電式電池を含む）（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造年は本体のふたの内側に表示されています。

CEマークは、それが法的に強制されている国－主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国－でのみ有効です。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機はFraunhofer IIS 及び ThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

# 別売りアクセサリー

| | |
|---|---|
| アクティブスピーカー | SC-DP300 |
| ヘッドホン | HP-SE11<br>HP-SN51<br>HP-SC21 |
| 充電式電池 | NH-WM2AA |
| 接続コード | RK-G129<br>RK-G136 |

# 索引

## 五十音順



## アルファベット順



## 表示・記号



その他